

平成 25 年 8 月 9 日

各 位

本社所在地 東京都千代田区九段北 4-2-6  
会 社 名 **レカム株式会社**  
代 表 者 名 代表取締役社長 伊 藤 秀 博  
(コード番号：3323 東証 ジャスダック S)  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員経営管理本部長  
川 畑 大 輔  
(TEL：03-5357-1411)  
(URL：http://www.recomm.co.jp)

事業再編（製造事業からの撤退等）、特別利益および特別損失の計上  
ならびに平成 25 年 9 月期業績見通しの修正、配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 8 月 9 日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社アスモが営む情報通信機器製造事業からの撤退を柱とする事業再編を行うことを決定いたしました。これに伴い、特別利益および特別損失が発生いたします。併せて、平成 25 年 9 月期通期の業績見通しおよび配当予想について修正する必要が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業再編の内容および理由

(1) 情報通信機器製造事業からの撤退

当社は、平成 18 年 3 月に情報通信機器製造事業を営む株式会社ケーイーエス（現株式会社アスモ）を傘下に収め、以降、情報通信機器ビジネスを製販一体になって推し進めてまいりました。しかしながら、情報通信機器製造事業については平成 19 年 9 月期の売上高 5,355 百万円をピークに事業規模の縮小が続き、平成 24 年 9 月期には売上高 208 百万円とピーク時から 20 分の 1 以下の水準にまで落ち込んでおります。この間、「工場閉鎖によるファブレス化」や「PHS 事業の譲渡」、また、近年では OEM 商品を中心とした従来のビジネスモデルから、売上総利益率が高く、在庫リスクの少ない製造受託業務中心のビジネスモデルへと転換を図るなどの施策を講じてまいりました。

しかし、新規製造受託業務の獲得に関しては低調な実績であり、自社ブランド IP ビジネスホンの販売に関しても低迷が続いております。また、グループ内で製造事業を唯一営む連結子会社の株式会社アスモは、平成 25 年 6 月末日現在 631 百万円の債務超過の状況であり、また、これまでに開発製造資金として金融機関 4 行から借り入れた借入金の残高も、同日現在 532 百万円となっており、現在の事業の規模から考えますと過大であり、現状の株式会社アスモの財務状況では返済が難しいことから、実質的には当社が返済を行っているといった状況となっております。

一方、当社の営む情報通信機器販売事業においては、これまでに蓄積した顧客基盤を背景として安定的な収益こそ確保しておりますが、製造事業のマイナスが足枷となり、販売事業の売上規模拡大のための新規投資が思うように出来ない状況が続いております。

そのような状況の中で、当社は、あらゆる角度から情報通信機器製造事業の方向性に関して検討してきた結果、不採算事業となっており、今後の改善の見通しも厳しいことから、製造事業からは

速やかに撤退し、販売事業に経営リソースを集中させることが当社の企業価値ひいては株主価値を高めるうえで必要不可欠と判断いたしました。この決定により、本件は、平成 25 年 9 月期第 3 四半期における修正後発事象に該当することから、棚卸資産の評価損等を事業整理損失 28 百万円として特別損失に計上いたします。また、第 4 四半期以降も事業撤退に伴う特別損失の追加計上が見込まれますが、その業績に与える影響は現時点では未確定であります。

なお、製造事業からの撤退の決定により、本年 11 月末を目処に製造業務の終息が図られることとなります。また、当該事業に従事する従業員については、情報通信機器販売事業（設置工事、保守サービス業務を含む）への配置転換などを検討しております。

## （2）カウネット事業の譲渡

当社は、平成 20 年 4 月より、ウォーターワン株式会社（本社：神奈川県横浜市西区 代表取締役 船木拓志）および有限会社サイバーワン（本社：神奈川県横浜市西区 代表取締役 船木香代子）から承継する形で、株式会社カウネットの代理店として関与するオフィス用品等の通信販売およびオフィスに関わる各種サービスの提供に関する事業（以下「カウネット事業」といいます。）を行ってまいりましたが、のれんの償却負担が重いため実質的な利益の水準が極めて低いことから、経営リソースを情報通信機器販売事業に集中させるべきとの判断に至り、カウネット事業を株式会社アルファライズ（本社：東京都渋谷区 代表取締役 塚田淳一）に譲渡価格 55 百万円で本年 9 月末をもって譲渡することといたしました。これにより、平成 25 年 9 月期において 1 百万円の特別利益が計上される見込みです。

なお、カウネット事業においては、これまで年間 3 億円程度の売上がありましたが、その減少分は経営リソースの集中により情報通信機器販売事業にて十分補えるものと考えております。

## 2. 特別利益および特別損失の計上について

平成 25 年 9 月期第 3 四半期において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上する必要が生じました。

### （1）特別利益の内容

平成 25 年 9 月期第 3 四半期（累計）	特別利益の総額	14,117 千円
（その主なもの）	事業譲渡益	11,750 千円
	固定資産売却益	1,436 千円

### （2）特別損失の内容

平成 25 年 9 月期第 3 四半期（累計）	特別損失の総額	67,830 千円
（その主なもの）	債務保証損失	12,023 千円
	債務保証損失引当金繰入額	2,535 千円
	減損損失	7,971 千円
	事業整理損失	36,811 千円

### （3）計上に至った経緯

- ①事業譲渡益につきましては、当社の 2 支店の撤退に伴い、当該支店の顧客を同業他社に引き継いだことにより発生したものであります。

- ②固定資産売却益につきましては、当社の不使用となった固定資産を売却したことにより発生したものであります。
- ③債務保証損失につきましては、当社が債務者に代わってリース会社等へ支払った損害金であります。
- ④債務保証損失引当金繰入額につきましては、当社のリース会社等に対する債務保証額のうち、顧客の信用状況等を考慮した損失見込額を引当金として計上したものであります。
- ⑤減損損失につきましては、当社子会社の琉球レカム・リール株式会社におけるコールセンター事業の大幅な事業縮小に伴い、業務に使用していたリース資産を減損処理したものなどであります。
- ⑥事業整理損失につきましては、⑤のコールセンター事業の大幅な事業縮小、および、上記の株式会社アスモの情報通信機器製造事業からの撤退により生じたものであります。

### 3. 平成 25 年 9 月期通期業績予想の修正について

(1) 平成 25 年 9 月期通期連結業績予想(平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 24 年 11 月 16 日発表)	4,501	120	114	70	313 円 62 銭
今回発表予想(B)	4,107	1	△29	△157	△703 円 76 銭
増減額(B－A)	△394	△119	△143	△227	—
増減率(%)	△8.8%	△99.2%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 9 月期通期)	4,423	24	14	25	116 円 17 銭

#### (2) 修正の理由

業績予想の修正理由は次のとおりであります。

今期におきましては、前期に引き続きグループ各社において徹底した経費削減と事業採算性を追求した結果、販売管理費は計画の 1,236 百万円に対し今回予想では 1,160 百万円と、計画比 93.9%の水準に抑えることができる見込みです。しかし、コールセンター事業の大幅縮小、直営店営業人員が前年より減少したことやビジネスホンの販売が低迷したことなどにより、売上高が計画を 8.8%下回る見込みであることから、コールセンター事業と情報通信機製造事業の営業赤字や棚卸資産の減損処理、貸倒引当金の増加などを補うことができず、営業利益が 1 百万円（前回予想から△119 万円）、経常損失が 29 百万円（前回予想から△143 百万円）となる見込みであります。また、コールセンター事業の大幅縮小、製造事業からの撤退等の事業再編に伴う特別損失 36 百万円とそれらの要因による繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額を 45 百万円計上したことが大きく影響し、当期純損失が 157 百万円（前回予想から△227 百万円）となる見込みであります。

#### 4. 平成 25 年 9 月期配当予想の修正について

##### (1) 配当予想修正の理由

当社は、これまで平成 25 年 9 月期の配当について「未定」としておりましたが、上記のような財務状況、業績見通しであることから、株主の皆様には大変申し訳ありませんが、今期配当につきましては「無配」とさせていただきます。事業再編による収益向上により一日も早く復配できますよう、全社一丸となって努力してまいります。

##### (2) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	—	未定	未定
今 回 修 正 予 想	—	0 円 00 銭	0 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭	—	—
前 期 実 績 (平成 24 年 9 月期)	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

以 上